

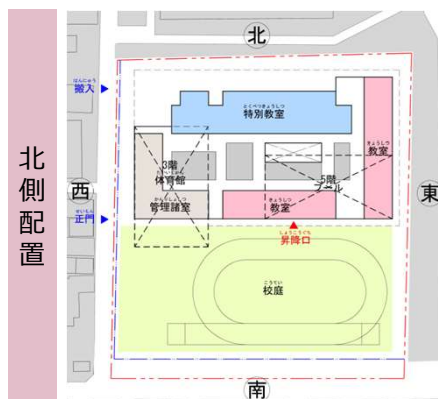


2026年完成予定の新しい小名木川小学校。
児童や職員、地域の方々の「想い」や「気付き」を反映させた新しい校舎にしていくための
ワークショップの第2回目を、8月23日（火）に開催しました。

第2回ワークショップのテーマ：「新たな小名木川小学校全体のありようについて」

第2回ワークショップ概要報告

テーマ1 「建物配置プラン案」について



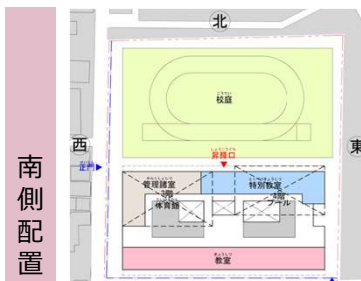
- 建物配置が大きく変わらないので、
周辺地域への影響が最も少ない
- 校庭の広さ、形、日当たりがよい
- 教室から校庭がみえる
- 体育館が他案と比べて低い階（3階）のため
災害時等に避難がしやすい
- 校庭以外に外で遊べるスペース（屋上）がある
×東向きの教室がある
（東側住宅に要配慮、日当たりはどうか）
- ×正門から昇降口までが遠い
- ×南側にも門が必要
（緊急車両用、2方向の動線の確保）

総合的にみて
北側配置案が◎

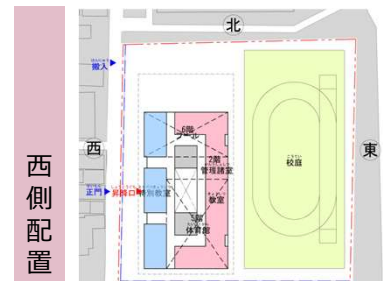


第五大島小学校の写真をみました！

ワークショップを行う前に、
同じく改築ワークショップを開催して建替えを行った、
第五大島小学校の写真を紹介しました。
新しい小学校のイメージをふくらませることができました。



- 校庭が一番広い
- 全ての教室が南向き
- ×南側の住宅に圧迫感がある
- ×教室から校庭が見えない



- 教室から校庭がみえる
- プールが高いところにあり、
周囲からみられにくい
- ×6階建てのはのぼるのが大変

テーマ2 「いろいろな部屋・空間・場所の“こうなって欲しい”」について

新しい小名木川小学校の「こうなって欲しい」について、アイデアを出し合いました。

オープンで明るい教室

- ・十分な採光のある明るい教室
- ・廊下に対してオープンな教室
（仕切りをなくすor全面窓に）
でも、目隠しは必要／区画は明確に
- ・教室から校庭にすべり台でやりたい

気軽に外に出られる楽しい工夫

- ・楽しく過ごせる魅力的な屋外スペース
ハンモック／寝そべることができる
輪になって座れるベンチ
ローラーすべり台／ターザンロープ
- ・短い時間でも外に出られるように
各階にテラスがほしい
- ・高学年が出たくなるおしゃれな空間

〇〇の使い方ができるスペース

- ・ダンスホールのような鏡張りの空間
- ・俳句や茶会ができる和室
- ・「仲良し」用の防音の多目的室
- ・雨の日でも体を動かせるスペース
- ・寝そべることができる場所
- ・室内でボール遊びができる場所
- ・生き物を観察できる場所
- ・昔遊びができる空間



安全で便利な「門」

- ・子供たちが雨風をしのげるように
- ・セキュリティ・防犯対策を万全に
- ・校外への二方向避難の確保
（南側にも門が必要ではないか）

「遊び」と「涼」のある校庭

- ・「水」を感じるミストやビオトープ
- ・たくさんの遊具
- ・テニスができる場所
- ・日陰の遊び場
- ・砂ぼこりがたたない校庭



自然・季節感を感じられる学校

- ・緑を多く感じられるように（屋上も）
- ・シンボルである大きな桜がほしい
- ・果実のなる木等、季節感を大切に
- ・植物のあるスペースが欲しい
- ・木を使う、木目調にするなど、
自然のものが使うのがよい



ゆとりのある昇降口

- ・昇降口は広くしてほしい
- ・雨の日に傘の水を切る場所がほしい
- ・正門から昇降口までの動線は広く
- ・ビロティは雨の日に遊べてよい
- ・正門～昇降口～校舎はバリアフリーに

地域も使いやすい体育館

- ・校舎を通らず体育館に行ける
動線の確保（エレベーターも）

災害に強い学校

- ・水害を意識した設計に
- ・緊急時の電力確保
- ・避難場所の環境を快適に（空調等）